

【平成 24 年度国有林モニター会議（現地見学）の開催】

平成 24 年 9 月 26 日、東信森林管理署管内和田山国有林 1128 林班外において「平成 24 年度中部森林管理局国有林モニター会議（現地見学）」を開催しました。

現地見学には、全 36 名の国有林モニターさんのうち管内一円からお集まりいただいた 20 名の皆様と、当局から計画部長、森林整備部長、企画調整室長及び東信森林管理署長等が出席しました。

【当日の概要】 最初の現地見学は、東信森林管理署管内和田山国有林（1128 林班）シカ被害



対策箇所の囲いワナについて指導普及課生態系管理指導官から説明を受けた後、意見交換を行いました。国有林モニターの皆様からは、「シカ対策が如何に大変なのか分かりました」「シカ捕獲の記事が新聞に載ることを期待します」といった感想が出されました。その後、和田コミュニティセンターにて昼食及び交流会を行いました。



午後の現地見学は、東信森林管理署管内美ヶ原高原にてグリーンサポートスタッフ（略 GSS）の活動について森林官や S から説明を受けた後、意見交換を行いました。国有林モニターの皆様からは、「美ヶ原高原の美しさの一端を担っている GSS の活動は大変良いことだと思います」「広範囲の場所を二人で活動され大変だと思います」といった感想が出されました。当日は天気良く、八ヶ岳、御嶽山、乗鞍岳、北アルプス等の眺望が素晴らしく感激されていたようです。



続いて下諏訪町の八島ビジターセンターにて下諏訪観光協会の宣伝部会長であり、センターの自然解説員でもある田口氏から八ヶ原高層湿原における民・国連携によるシカ被害対策について講演を受けた後、意見交換を行いました。国有林モニターの皆様からは、「柵で囲まなくてはならない現実、シカが増えていることに驚いた」「今後の検証を期待します。結果を HP 等で紹介してほしい」といった感想が出されました。

最後に八ヶ原高層湿原を見学して帰路につきました。

今回の国有林モニター会議（現地見学）でいただいたご意見を、これからの国有林野の管理・経営に活かして参りたいと思います。